

## 学校評価 まとめと今後に向けて

今年度も、2回の学校評価アンケート(調査)にご協力いただきまして、ありがとうございました。

1回目の調査(9月)の後、気になる項目などを中心に教職員で話し合い、重点的に取り組むことなどを決めて2学期の取組を進めました。その結果、少し成果が出た項目もあります。一方で、依然として数値が低く、取組の見直しの必要性を感じることもあります。

3月上旬に開催しました「第2回 家庭・地域・学校 協議会」で頂戴しましたご意見、教職員の話し合いで出た意見等を、下にお示します。来年度の取組に生かしていきたいと考えています。

### <安全面の指導>

○保護者の方からの肯定的回答が、昨年度より増えた。これは、駐在所や地域の安全協会、「見守りたい」の方々による登下校時の見守りや声かけ、PTA補導部を中心にご協力いただいた交通安全教室、新たに地区の方(宮地様)においていただいて高学年対象に行った交通安全教室(講話)などによるところが大きいと思われる。今後も、PTA、地域の方々、関係機関と連携しながら、子どもたちへの安全指導を行っていく。

### <気持ちのよいあいさつ>

○毎朝、数名の教職員・にじっ子委員会の児童が、児童玄関前に立って、気持ちのよいあいさつで子どもたちを迎えている。児童朝礼では、生徒指導主事から繰り返しあいさつについて話をし、各学年・各学級では道德等の授業の中で「あいさつのよさ」について考えたり話し合ったりしている。朝の会や帰りの会等で、子どもたちが振り返る時間も定期的に設けている。委員会活動では、子どもたち中心に「おにぎりあいさつ」などの取組を進めた。

以上のことから、一定の効果は出てきている。今後も継続していきたい。

○「あいさつができています」と回答している児童の中には、声が小さくて相手に届いていない場合もある。相手に伝わるあいさつ、お互いが元気になるあいさつを推進していきたい。

○教職員をはじめ、私たち大人が手本を示していくことが大切だと思われる。コミュニケーションの第一歩としてのあいさつのよさ・大切さを子どもに教えながら、学校・家庭・地域が連携した取組を進めていきたい。

### <先生は一生懸命教えてくれる・授業がよくわかる・授業に自分から進んで取り組んでいる>

○スクールプランに掲げた目標値には達しなかった項目もあるが、高い結果が出た。これは、私たち教職員が日々の授業を大切に、子どもたちに力がつくような実践研究を積み重ねていることとのつながりを感じる。

○一方、「進んで取り組む」の数値がやや伸び悩んでいる。こちらは、子どもたちの「進んで取り組む」を肯定的に捉える基準が上がってきていることが一因として考えられる。学校で、子どもたちがしていることを価値づけながら、子どもたちが「進んで取り組んでいること」、その結果力をつけていること・伸びていることを、子ども

たちが実感(自覚)し、自信をもてるようにしていきたい。

- 来年度も引き続き、子どもたちが自分の目標やめあてを立てただけにせず、何度もそこに立ち戻り、ふり返りをしながら、自分の成長に気づくようにしていきたい。
- 保護者評価の「我が子は学習に自分から進んで取り組んでいる」の数値はまだまだ低いが、昨年度よりもアップし、また1回目と2回目を比べても上昇している。学校での取組を生かして、家庭でも進んで学習に取り組むこと、特に宿題だけではなく自分で考えたことを調べる・まとめるという姿がさらに増えていくことをめざしたい。

#### <「ありがとう」を伝える>

- 学校では、小さなこと・場面でも「ありがとう」を言うように指導を重ねていきたい。例えば、教室でプリントが前から順番に配られるとき、後ろの人は前の人からもらった時に「ありがとう」と言う、というようなことを繰り返し指導し、「ありがとう」を伝えることでお互いに気持ちよく生活できるようにしていきたい。特に、低学年のうちから、「ありがとう」を言うことがあたりまえになり、自然にできるようにしていきたい。

#### <学校が楽しい・みんなで何かをするのは楽しい>

- 昨年度よりやや数値が落ちた。また、今年度1回目より2回目の方が肯定的回答は減っている。授業が楽しい、分かるから楽しい、友達と遊べるから楽しい、行事があるから楽しみ、たてわり活動があるから楽しいなど、子どもたちが「楽しい」と感じることは一人一人違うと思われる。各学年とも、2学期は学習内容が難しくなったことで学習への抵抗感が増したこと、慣れてきた友達との交流の中で、些細なことから仲違いをすることがあったことなどが、2回目の評価で数値が下がっている背景にあると思われる。
- 誰かに何かを「してもらおう」ことが「あたりまえ」なことと思っている児童が少なからずいる。少々困難なことも一人で乗り越えた、みんなで協力して成し遂げることができた、というような達成感や充実感をもてるように、ふり返りや友達との対話の時間の設定等を工夫していきたい。

#### <ふるさと福井>

- 生活科・社会科・総合的な学習の時間を中心に、R7年度はこれまでより地域に出かける、地域の方々をゲストティーチャーとしてお招きすることを増やした。身近にいる人、身近にあるモノ・コトから学ぶことを通して、郷土を大切に作る心、自分に何ができるかを考える力を育てていきたい。今後も、続けていきたい。
- 寄贈していただいた「西藤島カルタ」を有効活用しながら、ふるさと西藤島、ふるさと福井について学ぶ機会を計画的に作っていきたい。

#### <保護者の回答全般>

- 多くの項目の数値が、昨年度よりも上昇している。これは、学年だよりや学校だより、そして、今年度後半から始まった学校ホームページ上のブログ「エデュマップ」による配信等が影響していることも考えられる。
- 今年度から教育ウィーク中に「フリー参観の日」を設け、2日間でのべ200人以上の方々が、子どもたちの普段の様子を参観して下さった。そのことによって、これまでより「学校・クラス・授業を知る」「子どもたちのいつもの様子を知る」機会が増えたことも肯定的評価がアップした背景にあると思われる。